

国立大学法人東京農工大大学院生物システム応用科学府教育規則の一部改正

国立大学法人東京農工大大学院生物システム応用科学府教育規則を次のとおり改正する。

現行	改正	備考																																												
<p>国立大学法人東京農工科大学大学院生物システム応用科学府教育規則</p> <p style="text-align: right;">平成16年4月1日 16生教規則第2号</p> <p>第1条～第3条 省略</p> <p>第4条 後期3年の課程（以下「博士後期課程」という。）の授業科目及び単位数は、別表第2のとおりとする。 2 博士後期課程の学生は、必修科目8単位及び選択科目4単位以上あわせて12単位以上を修得しなければならない。 <u>3 授業科目の履修方法については、別に定める。</u></p> <p>第5条～第12条 省略</p> <p style="text-align: center;">附 則 省略</p> <p>別表第1 省略 別表第2 〔博士後期課程〕 生物システム応用科学専攻 省略</p>	<p>第1条～第3条 省略（現行どおり）</p> <p>第4条 後期3年の課程（以下「博士後期課程」という。）の授業科目及び単位数は、別表第2のとおりとする。 2 博士後期課程生物システム応用科学専攻の学生は、必修科目8単位及び選択科目4単位以上あわせて12単位以上を修得しなければならない。 <u>3 博士後期課程共同先進健康科学専攻の学生は、必修科目12単位、選択必修科目6単位及び選択科目2単位以上あわせて20単位以上を修得しなければならない。</u> 4 授業科目の履修方法については、別に定める。</p> <p>第5条～第12条 省略（現行どおり）</p> <p style="text-align: center;">附 則 省略（現行どおり）</p> <p>別表第1 省略（現行どおり） 別表第2 〔博士後期課程〕 生物システム応用科学専攻 省略（現行どおり） <u>共同先進健康科学専攻</u></p> <table border="1" data-bbox="1093 1027 1980 1487"> <thead> <tr> <th></th> <th>授業科目</th> <th>単位数 (東京農 工大学開 講)</th> <th>単位数 (早稲 田大学 開講)</th> <th>単位数 (共 通)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">専攻基軸科目</td> <td>化学物質総合管理学</td> <td></td> <td>○2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活環境総合管理学</td> <td></td> <td>○2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食農総合管理学</td> <td></td> <td>○2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>感染症総合管理学</td> <td></td> <td>○2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハザード評価学</td> <td></td> <td>○2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>リスク評価学</td> <td></td> <td>○2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>研究倫理</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>イノベーションリーダーシップ</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実践英語教育科目</td> <td>Professional Communication</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		授業科目	単位数 (東京農 工大学開 講)	単位数 (早稲 田大学 開講)	単位数 (共 通)	専攻基軸科目	化学物質総合管理学		○2		生活環境総合管理学		○2		食農総合管理学		○2		感染症総合管理学		○2		ハザード評価学		○2		リスク評価学		○2		研究倫理		2			イノベーションリーダーシップ		2		実践英語教育科目	Professional Communication		1		
	授業科目	単位数 (東京農 工大学開 講)	単位数 (早稲 田大学 開講)	単位数 (共 通)																																										
専攻基軸科目	化学物質総合管理学		○2																																											
	生活環境総合管理学		○2																																											
	食農総合管理学		○2																																											
	感染症総合管理学		○2																																											
	ハザード評価学		○2																																											
	リスク評価学		○2																																											
	研究倫理		2																																											
	イノベーションリーダーシップ		2																																											
実践英語教育科目	Professional Communication		1																																											

		Advanced Technical Reading and Writing		1	
		Advanced Technical Presentation		1	
		Workplace English		1	
専門科目	生命科学	獣医学概論	○	2	
		実験動物学特論	○	2	
		疾患モデル学特論	○	2	
		分子病態制御学特論	○	2	
		分子再生医学特論	○	2	
		知覚運動制御特論	○	2	
		先進がん治療特論		2	
		分子腫瘍学特論			2
		脳・こころの健康医療科学特論			2
		健康免疫学特論			○2
	環境科学	環境バイオ分析化学特論	○	2	
		環境微生物学特論		2	
		環境ゲノム情報解析特論		2	
		植物環境工学特論		2	
		環境生物資源特論			○2
		環境生理学特論			○2
	食科学	生活習慣病予防学特論	○	2	
		食理健康学特論		2	
		生体分子反応特論		2	
実践生物統計学		○	2		
時間栄養・薬理学特論				○2	
演習科目	先進健康科学計画研究				◎4
	先進健康科学セミナーI				◎4
	先進健康科学セミナーII				◎4
	先進健康科学セミナーIII				4
	実践プレゼンテーション特論 I				4
	実践プレゼンテーション特論 II				4
	実地研修研究特論				4
備考 1. ◎印の授業科目は必修科目、○印の授業科目は選択必修科目とする。 2. 専攻基軸科目の選択必修科目から2単位以上、実践英語教育科目から2単位以上、専門科目の選択必修科目から4単位以上（生命科学科目の選択必修科目から2単位以上、環境科学科目と食科学科目の選択必修科目から2単位以上）、演習科目の必修科目から12単位を修得し、合計で20単位以上修得すること。					

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。